

# 転生したらギラティナ

レオレオレオ

やぶれたせかいからこんにちは

# 目次

|                   |    |
|-------------------|----|
| ギゴガゴゴーツ           | 1  |
| ギラッギラッティナアあア      | 1  |
| 見ろ！二天龍がごみのようだ！！！！ | 10 |
| 無限の龍              | 27 |
| あああ、また強なった        | 34 |
| 謎の???????         | 42 |



ギゴガゴゴーツ

ギラッギラッティナアア

ハイスクール××見返したらいつの間にか書いていた。  
なにを言ってる

・  
・  
・

・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・

ふわああああ  
……

長い間寝ていた気がするな、

てかここどこだよ、周りにふわふわ浮いてる島？ っぽいのかあるし、  
まだ夢の中か？ 少し歩いてみるか。

「フワッ

ん？ 足の感覚が無い？

というか足が一本だけの蛇みたいなの……

…腕の感覚も無いぞ!?

でも腕っぼいのが6つ？

「右をギラッ

3つの翼？ がふわふわ

「左をギラッ

もう3つの翼？ がふわふわ

・・・おちけつ俺、俺が今動かしている腕？ は翼？ だった。

それにこの翼っぼい……というか翼は見たことがある。

これギラッティナじゃね？

「体をぐるっと見回して

完全にギラティナじゃねえかああああ！！！！

ギ  
ゴ  
ガ  
ゴ  
ー  
ゴ  
ー  
ツ  
!!

落ちて着いた。

俺はギラティナになってる、

しかも夢じゃないっぽい、翼で顔ひつかいたら痛かった。

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840.

〔ギラティナ〕

ぶんるいはんこつポケモン

タイプ  
ゴースト/ドラゴン

DPで初登場したでんせつのポケモン

時間の神ディアルガと空間の神パルキアが誕生したときに



とりあえず体感で3日ぐらいかな、

その間いろいろ確かめたことを整理しよう。

- ・ギラティナが覚える技は全部使える
- ・体の使い方100%理解
- ・反物質の力の使い方理解
- ・人化できそう

よく、ラノベとかで人外の奴らが人間になってるし、

出来るかな？と思ってやろうとしたら出来そうって感じなんだよな。

あと一番びっくりしたのが

・ここはポケモンの世界じゃない  
それと

・何個か他の世界がある

いや2つやないかい（激寒）

ちょっと世界に裂け目をあけて、外の世界をのぞいてみたらあらびっくり

ポケモンっぽいのないやん、しかも天使？と墮天使？と悪魔？が殺し合いしてるし、

もう一つの世界があることにびっくりして裂け目をあけてなんもねえやんと思っ  
たら

強大な気を2つほど感じたし（まあ、勝てるけど）

また一つの世界にはやばそうなやつが封印されてたし（まあ、勝てry）

この世界怖すぎだろ。（まry）

（　　へ　　へ　　）・・・寝よ、『ねむる』 Z Z Z

# 【悪魔陣営】 四大魔王

ルシファー「・・・気づいたか、ベルゼブブ。」

ベルゼブブ「ああ、とんでもない気だ、

しかもいきなり現れ、すぐに消えた。」

レヴィアタン「鳥どもも気づいてるでしようね。」

アスモデウス「奴が戦争に参加することはないだろうが、

もし参加したら…」

レヴィアタン「全滅…でしょうね… 私たちもあいつらも」

ルシファー「真なる赤龍神帝（アポカリユプス・ドラゴン）や

無限の龍神（ウロボロス・ドラゴン）と同じ、いやそれ以上…」

# 【墮天使陣営】

シエムハザ「アザゼル…」

アザゼル「はは、冗談きついで、

まさかグレートレッドやオーフィス以上の

化け物がいるなんてな。」

コカビエル「・・・」

【天界陣営】

ミカエル「主よ。」

「」

ミカエル「・・・承りました、刺激しないということ。」

【次元の狭間】

オーフィス「・・・つよい、かてない」

【やぶれたせかい】

ギラティナ「ZZZZZZ↑最強

モチベがわいてくるうう→

厨二病じゃなきゃこんな書けねえええええ!!

色ギラティナ性格うっかりやだったぜええええfuc○!

今時ハイスクール☒☒☒を書いていくうううう!

見ろ!二天龍がごみのようだ!!!

あああ W W W ううう W W W W

とてつもない化け物(笑)の気配が感知されて何年後か

【表の世界】

そこでは3つの陣営が争いあっていた。

裏の世界での大戦争、終わる気配のない中

乱入者があらわれた

赤い龍、ア・ドライグ・ゴツホ

白い龍、アルビオン・グウィバー

この二匹は、3陣営が争っている真ん中で争い、

それぞれの陣営が手を取り合うしかないまで消耗させられた。

しかしそれぞれの陣営が共同で戦っても敵わないほど、二匹の力は圧倒的であった。

【やぶれたせかい】

ギラ「ZZZZZZZZZZ

『ねごと』

『ねごと』によって『シャドークロー』が発動！  
勢いで次元を切ってしまった。

ギラ「ゴ—

ギラティナは表の世界に落ちていった。

【悪魔陣営】

サーゼクス「くそ、どの陣営も被害が甚大だ!

魔王様たちもやられてしまった。」ヤッ

アジュカ「おい、あれを見ろ!サーゼクス!」

サーゼクス「なっ!?、空が裂けている!?!」

ファルビム「無理やり裂かれたような感じにも見えるね」

【ギラティナ視点】

「zzzzzz」

ドスツ!! 「ギガアアアア!?!?」ぐぼああ!!

【堕天使陣営】

バラキエル「あいつはなんだ!？」  
アザゼル「痛そうだな「ギガアアア」とか言っちゃってるし」  
バラキエル「言ってる場合か!!」

【ギラティナ視点】

落ちたん? えっ?なんで落ちたん? (関西弁)  
痛ったー まあ、600kgぐらいが落ちたらそりゃ痛いわ。  
しかもアナザーフォルムになってるってことは、  
ここ、やぶれたせかいじゃねえな。

・・・何か目の前に敵対心MAXなドラゴンが二匹いるんだけど、え、怖。

ドライグ「貴様も我らの闘いを邪魔するか!!」

アルビオン「邪魔をするなあ!」

いや、当てつけにもほどがあるわ!

てかこいつらどっかで見たことが…

…こいつらドライグとアルビオンじゃね!?

てことは、ここはハイスクール××の世界か!?

よく見ると遠くにいるのはサーゼクス・ルシファーとかアザゼル先生じゃねえか

!(歓喜)

ドライグ「無視をするなああ!」

いや、わがまま!?!子供か!?

あっそうだ(唐突)

「やーい乳龍帝」

ドライグ「なっ　な　な　な　に　い　い　!!!???

乳と侮辱するかああああ！！！！！！！！」

お前にはお似合いだな！赤いのWWW」

「うるさいぞケツ龍皇」

アルビオン「よし、殺す、

あの憎き呼び方より殺意が沸いたぞ。」

ドライグ「ケツ龍皇WWWWW」

【墮天使陣營】

アザゼル「あのドラゴン、よりもよってあの二天龍を

乳とケツだつてよ W W W てか何で乳とケツなんだよ W W W」

「油断するな！アザゼル！奴は俺たちにとって

敵かもしれないんだぞ!!」

アザゼル「ふーー WW  
∴

そうだな、奴は本当にイレギュラーな存在だ、

どんな書物にも奴のことはのっていない、

それに敵か味方かを見極めないとな。」

シエムハザ（いつもこんなにまじめだったら…）んぐ…

アザゼル「……ブフッ  
WW」

シエムハザ「台無しだよ!!」

ドライグ「ぬぬぬ…」

アルビオン「ぐぐぐ…」

二人というか二匹が睨み合ってる、一体どいつのせいなんだ（棒）

・・・よし、帰るか！（マイペース）

「あっ、定時なので帰りますね」

ドライグ「あっお疲れ」 じゃないわあああ！……」ゴォォォォ

「サッ ドゴオッオオン！！！！」

うわ、いきなり炎吐いてきやがったよこのマダオ

ドライグ「散々侮辱しておいて、素直に帰すわけないだろうが！」

「明日まで、明日までお待ち下さい！」

アルビオン「どこへ行くんだあ？」

「ふおお!？」

くっそ、戦うしかないんかな？

ドライグ&アルビオン「・・・」クゥゥ

あっ、徹底抗戦の構えっすかそうすか、

まさかの初交戦が二天龍とかきつすぎい!

なんでこうなるの? (無職)

「さて、話し合えばわかる!」

アルビオン「問答無用!」ビィィィ

「ぎゃああああ」どかあああん!

痛・・・くないな、ボールぶつけられたみたい。

あれ、俺ってめっちゃくちゃ強い?

# 【墮天使陣営】

どかあああん!!

アザゼル「あ、派手な登場の割にはすぐにやられたな。

・・・いや、生きてる、てか無傷かよ!!

なんちゅう化け物だよ!」

シエムハザ「あんな奴が表に出ていなかったとは……」

アルビオン「ふん、口ほどにもなかったな。」

『あやしいかぜ』

アルビオン「な！ぐおおおお！」ドーン

ドライグ「フハハハ！吹き飛ばされるとは無様だな、白いの！」

アルビオン「言ってる場合か！この白金の、我々よりも強いぞ！」

ドライグ「その程度分かっておるわ！いくぞ！白いの！」

アルビオン「貴様と手を組むのは心外だが致し方ない！」

血が騒ぐな！」

【ギラティナ視点】

うわ、手を組みやがった。

でも対二天龍の方法は考えたからな、  
多分これで勝てるだろ。

アルビオン「Divide!

よし、来たな!

『マジックコート』

アルビオン「な!なぜ我に半減の力が!」半減

ドライグ「貴様はもう使えん!下がってろ!」Boost!

よし、もおいっちょ!

『じこあんじ』

「Boost

ドライグ「! 何故貴様に我の力が使える!」倍増

「ガアアア!」『りゅうのはどう』

ドライグ「ぐあああああああ!……!」ドカーン

アルビオン「赤いの! くs『シャドーボール』ぐああああ!……!」ぐしや

あ、しゃべろうとしてた？なんかごめん。

【三陣営】

あ、あの二天龍がいともたやすく…

やべえよ…やべえよ…

やらないか♂

アーツ♂

誠○ね

上級悪魔S「・・・」

四大天使「」

カラス達「ええ…」

【天界陣営】

神「――」

ミカエル「え、 おやめください！あの白金に会いに行くのは！」

ガブリエル「もう一度お考えを！」

ウリエル「ああ、行ってしまわれた……」

【ギラティナ視点】

ドライグ「グググ……」

アルビオン「ガ……」

やりすぎたか？予想以上に火力が……

ん？なんか光る物体が近づいて？

神「――」

え？こいつらを封印したい？あんたは？

神「――」

あ、神様ですか……え？ まじで？

神「」

まじですか。

神「」

あ、三陣宮には別に手は出しませんよ、

この二天龍達がいきなり襲ってきただけですし。

神「」

え、なんで二天龍と呼ばれていると知っているかって？

………君のような勘のいい神は嫌いだよ。

【やぶれたせかい】

はあ、ちかれた。

……神様限界っぽかったけど大丈夫かな？

原作だったらこれで死ぬ？んだったよなあ……

てか俺も一応神様だけど。

よし!寝Y「パリーイイイイン!!!!!!」なんか次元割られたんだけどおおお!?

お久しぶりです。

一回消えて萎えてました。

だが!俺は!がんばるぞおお!!

技説明だあああああ!

『マジックコート』エスパー 変化

必ず先制でき、そのターンの間相手の変化技を

跳ね返す。(本来はオリジンフォルムのみ覚えれる)

『じこあんじ』ノーマル 変化

相手に掛かっている補助効果を自分にも掛ける。

オリ設定

アナザーフォームは、

オリジンフォームの二分の一の力

それであれですよ。コンナチーニチーターヤ

!!

補足

一話から二話までは300年ぐらいかかってます。

その間ギリティナは寝てました。

実は無意識に力を隠せるようになっていきます。

なので三陣営はとんでもない化け物（笑）だとわからなかったわけですね。

感想と評価ありがとうございます。

おかげでやる気が出ました。  
これからがんばるZOY!

## 無限の龍

ロリハシコウ

パ  
リ  
イ  
イ  
イ  
イ  
イ  
ン  
!!

---

何の音だ!?

あゝ・・・何かがやぶれたせかいに入ってきたみたいだな。

警戒しておくか。

てかこの世界でこんなことが出来るやつっていったら、

オーフィスたんか、グレートレッドぐらいかな。

・・・行動を起こすといったらオフィスたんかな？

ま、まさか、合法ロリ（二次元）がリアルで見れることになるかも

しれないぞ!!

ふふふふふふ

ロリ魂が騒ぐ  
ZO∴∴

「・・・白金」

やはり！この底が知れないような力はまさに無限！

いま、俺の後ろにいる奴こそオフィスたんだな！（確信）

よし、せーので振り返るぞ！せーのっ！

「なんだい？」イケボ

オフィス？」「爺いいん！

？

????????????????????

????????????????????

え？誰??何この爺？俺のオフィスたんはどこ????

「あのお？あなたはどちら様でしょうか?？」

オーフィス？「我はオーフィス」

・・・ん？この爺自分のことをオーフィスたんだと思っている  
キチなのか？あ、俺の聞き間違いか！

「すいません、もう一度おねがいます」

オーフィス「・・・我はオーフィス」

幼女↓幼女↓爺

・・・n d s f b づい js じえない l h f に！！？？？  
は？マジで言ってる？

あ！そういえば原作でアザゼル先生が

「昔会った時は爺だった」とか言ってたな。

○ね

期待して損したわ!!!

そうしたら、ただちに爺にはお帰りになってもらわないと（使命感）

オーフィス「グレートレッド、倒す、手伝って。」

「嫌」

オーフィス「・・・グレートレッド、t「嫌」・・・」

オーフィス「g「嫌」・・・」

「・・・」

オーフィス「・・・」こてっ

爺がくびをかしげてもきもいだけだよ!!

オーフィス「なんで？」

「逆になんです承すると思っただんだ？」

オーフィス「我、帰れない」

「俺、知らない」

オーフィス「・・・」

「・・・」

会話にならねえ

よし、こうなったら！

「幼女になってから出直してこい!!」

オーフィス「幼女って？」

「墮天使総督にでも聞いてこい!!!」

『たつまき』

オーフィス「あああああああ……」ビューン

秘技、力技！

……やぶれたせかいの結界、強くしとくか。

|

はあ、まさかオーフィスたんがあんな爺になっていたなんて……

萎えたわゝ萎え萎えだわ、

我、ギラティナ引退よろしいか？  
だめです

アザゼル「……」

！「（略）」

【堕天使総督視点】

アザゼル「……」

オーフィス「……幼女って何」

アザゼル（無限の龍が来て何事かと思ったら、

幼女って何って、こっちこそ何事だと聞きたいわ！）

アザゼル「ど、どうということだ？」

オーフィス「白金が、堕天使総督に聞いてこいって……」

アザゼル（白金ってあいつだよな！あの面白ドラゴンだろ!?

何だよ!!何で俺に頼むんだよ!自分で説明しろよおお!）

ギラティナ「ガーツシュッ!!」

(多分総督が俺の話をしてるな、他人に迷惑かけるのきもちいい!!) 屑

アズレンやドルフロやfgoのイベントが遅れた原因です。↑チ○カス

あああ、また強なった

最近、頭がおかしい動画を見て色々学びました。

【やぶれたせかい】

暇だ、

暇だ、

・・・そうだ、グレートレッドイジメに行こ。

【次元の狭間】

グレートレッド（・・・オーフィスは無事だろうか、あいつには世界を見てほし

くて追い出したが、少し無理やりすぎたか？)

バキイン！！！！

グレートレッド(なんだ！！！？？)

ギラティナ「は〇〜ぼおお！！！！！！

どうもトカゲ野郎！初めてまっしてえ口〇子さんだよおお！！」

グレートレッド(な、なんだこいつは！？頭おかしいんじゃないか！？)

ギラティナ「暇なんデエ、ちよつとちよつかい出しに来ましタァ！

それじゃ、ぶち飛ばしていくぜエエエエ！！！！！！」

グレートレッド(こんな奴にここを取られてたまるかああああ！！)

ー1分後ー

ギラティナ「グへへへへ！！弱い、弱すぎる！！ヒュヒハッハァ！！」

グレートレッド(グ…こんなふざけた奴に呆気なくやられるなんて、

このままだったらあいつの帰る場所が…。)

ギリティナ「帰ろ」ヒュンッ

グレートレッド（は？ ちよっ待っ、て帰りやがった。

・ ・ ・ 私は暇つぶしの道具かあああ!!）

【やぶれたせかい】

暇は潰せたな、てかさ、娯楽がいっぱいあった現代の若者が、

こんな何もないところに飛ばされたら暇で暇で狂いそうになるのは当たり前だろ！  
てか狂ってたな、じゃなきゃグレートレッドに喧嘩ふらねえわ。

また寝よつかなあ、でもな、寝すぎて原作が過ぎたら面倒なんだよな。

・ ・ ・ そういえば、やぶれたせかい探索してねえな、ちよっと色々探すか。

15時間後1

探索結果

・ はっきんだま

・ こんごうだま

・ しらたま

・かばん(ポケモンDPの)

・オフィス(少女)

うん、最初の4つ見つけたときだけでもビビったのになんてお前がいるの？  
てかいつのまにか入ってきたんだよ。

オフィス「白金が言ったように我、少女になった、グレートレッド、倒す。」  
ええ…もうほとんど俺が倒したようなものだけどそれを言ったらなあ…

あ！そういえばオフィスは静寂を求めてたよな、じゃあ別に『ここ』に住んでもいいんじゃないか？でもしたら原作がなあ…ま、ええか。

「なあ、お前って静寂を求めてるんだよな？」

オフィス「…」  
ん

「じゃあここに住むのはどうだ？」

オフィス「…」

この会話って側から見たら思いっきり犯罪案件だよな。

・ ・ ・ はあ ∷ はあ ∷ 犯罪者？

ゴミ山ロリコン犯罪者？取り消せよ！今の言葉！

オフィス「我、ここに住む。」いじ

可愛いだよ、爺だったことなんて忘れるやろこんなん。

「てか案外すぐに了承したな、断るかと思ったぞ。」

オフィス「白金がいるから」

なんだこいつ、俺を攻略しようとしてるのか!?

ああ、ロリコンになるう、てかもうなってる。

オフィス「白金は強いから」

あっ、ふゝん（察し）

弱い生物が強い生物に隠れるようなものか、でもこいつが隠れるのってどいつからだ？

あー、そういうばサマエルとかおったな、てか俺もヤバくない？

オフィス「白金、この3つの玉、力を感じる」*チャンチャン*

「ん？あ、ああ」 あっ忘れとった。

オフィス「これ食べて」

「は？」

オフィス「食べて」

「サイズ」ハ・クツ

甘い、どんどん溶けてくな、飴かよ。

リコリツカロ

うん、なんか久しぶりに甘いもの食べれてよかったアババババ！！！！！！

熱っ体熱っ、温泉の熱い奴に入つた時ぐらい熱っ、てか風呂入ってねえやんそう

いえばああああ……!! と。カッ

はあ、はあ、この体になってから初めて疲れた。

てか視線が低くなってるな、ということとは？

どんな見た目かすごい気になる。

は  
は  
は、

嬉しいなあああ！！！！  
（血の涙）

オフィス「白金、荒れてる？」

「そうだよおおお！！！」

やべえよ、グラティナだけでもチートなのにまたチートがきて

チート☒チート☒チートでただの化け物じゃねえか!!

あ、元々か！あはははは！！！！

よし！サンドバッグ（グレートレッド）を叩きに行くか！

「ちよつと行ってくる」

オフィス「行ってらっしゃい」

【次元の狭間】

ギラティナ「帰ってきたよおお！」

グレートレッド（また来たよー!!? もう嫌だあああ!）泣

はあ… はあ… 遅すぎ投稿敗北者？

明日、学校、いやだ。

学生の方は宿題終わってますか？

最後まで残すと、ほんとにひどいことになりますからね。

お気に入りか200件を超えている… だど!?

やりました（加賀）

謎の???????

?????? (すぐわかる)

【やぶれたせかい】

やぶれたせかいのど真ん中で2人の人?が向かい合っている。

一人はアホの人化、もう一人は…?

「.....」

?????? 「.....」

「.....」

「?????」

「・・・あの、どちら様でしょうか？」

「?????」 「わta…わたし、俺を見ても分からないのか？」

「・・・いや？」

いや、誰だよ、こんな『紅い』髪の女原作に居たか？

てか俺が忘れてるだけか？ あとこいつ私って言いかけたな。

グレートレッド「なら教えてやるよ！俺はお前が荒らした次元の狭間の主、グレートレッド様だ！！！」

「ふーん」

グレートレッド「いや反応薄っす！あのもつと、こう、

『ええ！あのグレートレッドが、何で!?』とかないの！」

「いやあ、だつてさ、<sup>グレートレッド</sup>サンドバッグが来たところであ、あと俺は次元の狭間を荒らしたんじゃないかってお前で遊んでたんだよ。」

まさか女だとは知らなかったけどな！（冷や汗）

グレートレッド「いや、もっとタチが悪いよ！」

「素がでてるぞ」

グレートレッド「！」  
！

「で、何の御用で？」

グレートレッド「話を逸らされた気がするが、まあいいだろう。

俺は聞きたいことがあってここに来た、それは、オフィスについてだ！」

（いちいち大袈裟だな。）「へい」

グレートレッド「で、肝心のオフィスは？」

「なんか用があるらし『パリーン』あ、帰ってきた。」

グレートレッド「空間割ってるが大丈夫か？」

「全然良くない。」入口作っただのに

オフィス「ただい…グレートレッド…どどdd」

「ど？」

オフィス「とどどddddp.jg5はadまなjtw」

あ、バグった

グレートレッド「ど、どうした、なんでこんなことに!？」

「お前のせいじゃね？」

オフィス「グレートレッド倒すううう」

ー1分後ー

「で？住処を奪ったグレートレッドに対して拒否反応が起きたと？」

オーフィス「…そう」

グレートレッド「わ、私のせいで……あ、そうだ！」

「却下します」

グレートレッド「話ぐらい聞いてよ！」

「どうせ、罪滅ぼしのために一緒に住むとか言うんだろ？

それ、俺もオーフィスも迷惑だから。」あと原作にも

グレートレッド「……」*グズ*

泣くな！泣くのはやめて！俺弱いからそういうの！

オーフィス「グレートレッドは次元の狭間にいればいい。」

グレートレッド「うわゝゝゝん！！！！！」

ギャン泣きじゃねえか！

まあ、一番に考えてたであろうオーフィスにそんなこと言われたらなあ

あとキャラがぶっ壊れてる

どうするかなあ？別にここに住んでもいいけど、  
そしたら次元の狭間が無防備になるからなあ？

………そうだ

グレートレッド「なあ…本当にいいのか？」

「いいよ」

グレートレッド「いや、住むのを許可してくれたのは感謝してるが…

次元の狭間とやぶれたせかいを一緒にするのはどうかと思うぞ？」

俺が思いついたこと、それはグレートレッドが言ったとおり、  
『次元の狭間』と『やぶれたせかい』を一緒にすること、  
この2つの世界は似ているところが多い、

まあつまり、パルキアの力でゴリ押す。  
空間を無理やり繋げる。

これで原作も安心！侵略もさせない！

「あ、そうだ(唐突)オフィス。」

オフィス「…何？」

「用ってなんだったんだ？」

オフィス「禍の団を抜けてきた。」

「そう…(無関心)」

え？」

オフィス「…バイ」

「うゝ遅刻遅刻！」

僕は普通の男子学生、強いて違うところをあげるとすれば厨二病にかかっていて（クソみそな）小説を書いているところかな。

M H W IB 「……」

うほっ、いいゲーム…

M H W IB 「やらないか？」

………すみません、モンハンたのちい

# 転生したらギラティナ

---

著者 レオレオレオ

発行日 2019 年 9 月 9 日

ハーメルン -SS・小説投稿サイト-  
<https://syosetu.org/novel/197959/>

本書の内容を無許可で転載・複写・複製することは、禁じられております。

---